

大野山林だより



平成28年度子ども博物館

しせきめぐ

第1回講座「伊良部の史跡巡り」

日 時:平成28年4月24日(日) 午前9時~午後1時

場 所:宮古島市総合博物館・伊良部島・下地島

開講式

これから一年間、宮古の自然・歴史・民俗・文化について一緒に学んでいきましょう。

自分たちのルーツ(生まれ育った場所)により関心をもってもらえればうれしいです。



館長あいさつ

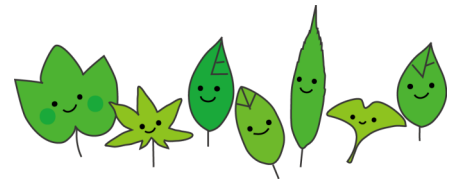


今回の先生

しんじょう むねのみ
新城 宗史さん



行程



くろはまうたき

博物館→①黒浜御嶽→②佐和田の浜→③通り池→④帯岩→

⑤スサビミャーカー→博物館

おびいわ



さあ、伊良部へ出発だ！！
ヒヒーン！！！！



① 黒浜御嶽



きょうだい

兄妹神の最初の子は魚で、二番目の子も魚、三番目の子はウミヘビだった…。神様に相談したところ「夜、ユナの葉を二人の間においてねなさい」と教えがあった。そのようにくらししていると、四番目に人間の子どもがうまれた。

その兄妹神を、祭っているのが黒浜御嶽なんだね！！



御嶽はむかしから地域の人たちが、大切に守ってきたものです。どこの御嶽にも勝手に入らないようにしましょう。

② 佐和田の浜



なぎさひやくせん

佐和田の浜は「日本の 渚 百選」に選ばれています。

いきない

域内には魚垣(カツ)を見ることができます。魚垣(カツ)

とおあさ

ぎよほう

とは、遠浅を利用した昔ながらの漁法です。



③ 通り池



ヨナタマ伝説 でんせつ

むかし、現在の通り池あたりに、木泊きどまりという村がありました。

通り池には、二軒の家があり、そのうちの二軒の家の漁師りょうしが、ある日、海へ行って、ヨナタマという人魚を釣つってきました。

その夜、泣ないているヨナタマの声を聞いた童宮りゆうぐうの神様は、

「ヨナタマ、ヨナタマ、どうして、お前まえは泣ないているのだ。」

「はい、神様。実は、私は人間に捕とらえられています。」

「そいつあ、いかん。よし、助けてあげよう。大波よを寄よせるから、

それに乗のってまいれ。」

そう言い終おわるやいなや、ドドドドド……。ものすごい音と共に、大きな波が二度も木泊村きどまりを襲おそいました。通り池にあった二軒の家は、あとかたもなく海うみに流ながされてしまい、後には、大きな二つの穴あながぼっかり開あきました。これが、現在の通り池げんさいだそうです。

参考『みやこのみんな《第一集》』



④ 帯岩



けい おも
帯岩は径59.9m、高さ12.5m、重
さはおおよそ2万トンで、1771 (明和
めいわ おおつなみ
8)年にあった「明和の大津波」の時
に打ち上げられたと言われています。

⑤ スサビミヤーカーカ



はか たれ
このお墓が誰のものなのか、どうし
た
てここに建てられたのなど、まだまだ
なぞ のこ
たくさんの謎が残っています・・・。
これぞミステリー!!!



今回は伊良部のことについてたくさん勉強できましたね！！

家族のみんなにも教えてあげてね(^▽^)